

HSCTの臨床現場で活用できるHLAの知識とその最新情報 #2

NGSのタイピング結果を用いて
ドナー選択する場合の考え方

造血幹細胞移植（HSCT）においてHLA関連検査は重要な検査項目の一つです。ヒト遺伝子の中で最も多様性のあるHLAを造血幹細胞移植の臨床現場ではどのように解釈し、活用していくべきなのか？まだまだ明らかな答えがあるわけではありません。しかし現在の状況を理解し、少しでも新たな知見を臨床に応用していくことが重要と我々は考えております。

昨今では次世代シーケンサー（NGS）によるHLAタイピングが患者様およびドナーの検査に導入されております。また、抗体検査もより精度を増してきており、DSA（Donor Specific Antibody: ドナー特異的抗体）をエピトープレベルで捉えることでより正確な抗体検査が実現しつつあります。

本講演会では全5回シリーズの講演を通して、HLAの重要性やNGS導入によるその臨床への活用を議論していきます。造血幹細胞移植の臨床現場で活用いただけるHLAの知識と最新情報をお届けします。皆様のご参加をお待ちしております。

第2回講演会のテーマは「**NGSのタイピング結果を用いてドナー選択する場合の考え方**」です。本講演会はお自宅や職場から自由にご参加できるWeb形式での開催です。ご視聴いただいている皆様からのご質問もお受けします。

日時	2021年12月15日 18:30 - 19:15
実施形式	オンライン（Zoom Webinar）形式
講演者	中島 文明（株式会社ベリタス 技術顧問）
内容（予定）	<ul style="list-style-type: none">・ドナー選択の考え方（Pグループ、エピトープ）・Ambiguityが発生したときにどうするか・レアアレル、Nullアレルの取り扱い
座長	横沢 佑弥（株式会社ベリタス 技術グループ）
参加申し込み	https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_XK3ickHFRDyww7P5Vh7U_A または 右のQRコードからアクセスしてください



皆様のご参加を心よりお待ちしております。

